

2026年10月16日

奈良富雄の料亭百楽荘で紅葉の庭園を特別公開

「百楽荘 秋の庭園開放」イベント開催！

～芸術と食を通じた地域活性化の取り組み 学園前アートフェスタコラボ企画も開催～

株式会社近鉄リテールینگが運営する料亭「百楽荘」では、秋の紅葉シーズンにあわせた一般開放イベント「百楽荘 秋の庭園開放」を2026年11月11日（水）と15日（日）に開催いたします。

約90年の歴史を持つ数寄屋造りの日本建築と紅葉が織りなす美しい庭園を、自由にご散策いただける特別な2日間です。

イベント当日は、百楽荘の玄関口「長寿門」へ向かうまでの坂道に、約80個の提灯を配置します。道中は、色づき始めた木々など、秋の景色をお楽しみいただけます。来場者には「百楽荘ご優待券」を進呈、小学生以下のお子様にはお菓子のプレゼントをご用意いたします。

両日、百楽荘の料理人がこの日のために提供する「秋の彩り御膳」を大広間で味わえるプランを販売いたします。秋の庭園をゆったり眺めながら、特別な御膳をお楽しみいただけます。

さらに、11月10日（火）には、学園前アートフェスタとのコラボイベントとして、現代アーティストのヤノベケンジ氏によるトークショーを開催いたします。現代アートの「作品」と、料亭ならではの「美食」を同時にご堪能いただけるお食事券を販売します。

「秋の庭園開放お食事券」及び「アートフェスタトークショー付お食事券」は、当社オンラインショップ【いろどりモール】で数量限定の事前販売のみとなっております。

ぜひこの機会に、ご家族やご友人とともに秋のひとときを百楽荘にてお楽しみください。

詳細は別紙のとおりです。



別 紙

1. 百楽荘「秋の庭園開放」イベント詳細

(1) 紅葉庭園の一般開放

約90年の歴史を持つ百楽荘の庭園を、期間中はどなたでも入場無料でご覧いただけます。
紅葉に包まれた静かな園内を散策しながら、建物の外観や佇まいをご堪能ください。

【開催日時】 ① 11月11日（水） 11：00～17：00（最終入場）

② 11月15日（日） 15：00～17：00（最終入場）

【場 所】 百楽荘 庭園内



百楽荘「長寿門」



秋の庭園イメージ

(2) おもてなし企画

期間中は、ご来場の皆さまへ以下の特典をご用意いたします。

- ・来場者全員に「百楽荘ご優待券」プレゼント
- ・小学生以下のお子様限定でお菓子プレゼント

(3) 提灯による演出

入口坂道に約80個の提灯を設置し、紅葉と日本建築が調和する秋の情景を演出します。

(4) 秋の彩り御膳について

百楽荘の大広間にて、当日限定の特別御膳を提供いたします。

※前売制となります。会場での販売はございませんので事前に「お食事券」をお買い求めください。

「秋の彩り御膳お食事券」購入方法

オンラインショップ【いとりモール】で販売いたします。

URL：<https://www.iroderimall-kintetsu.jp/>

- 【販 売 名】 秋の彩り御膳
 【販売価格】 6,600円（税込）
 【提供時間】

日付	時間帯	提供数
① 11月11日（水）	11：00～13：00	40食
② 11月11日（水）	15：00～17：00	40食
③ 11月15日（日）	15：00～17：00	40食

- 【販 売 数】 合計120食（各回限定 40食）
 各回の販売数に達し次第、販売を終了いたします。
 【販売期間】 10月20日（火）14：00から11月1日（日）17：00まで
 【受取方法】 購入後、百楽荘から「お食事券」を送付します。当日、来場時にご持参ください。
 （11月2日（月）以降に順次発送いたします）

参 考

1. 料亭 百楽荘について

奈良市の西郊・富雄の高台に佇む料亭「百楽荘」は、四季折々の自然と昭和初期に建てられたモダンな建築が調和し、閑静で風情ある佇まいを誇ります。約 1 万坪の庭園には個性的な数寄屋造りの離れが 10 棟点在し、慶事や法事、ご接待、親しい方とのお集まりなどにご利用いただけます。

住所：奈良市百楽園 3-1-3

電話：0742-45-0281 FAX：0742-40-2093

通常営業時間：11:30～15:00 / 17:00～22:00 ※完全予約制

定休日：水曜日

ホームページ URL：<https://hyakurakuso.com>

Instagram 公式アカウント：<https://www.instagram.com/hyakurakuso>

2. 学園前アートフェスタについて

（1）学園前アートフェスタとは

奈良市・学園前地域を舞台に、地域の文化施設や空き家などを会場として開催されるアートプロジェクトです。広報から運営まで、すべてのプロセスを地域住民が担う全国でも珍しい「住民主体」の取り組みとして 2015 年にスタートしました。

（2）今年のテーマ：「のこされた ときのかたち」

計画的な住宅都市として発展してきた学園前という街を「時間と記憶の交差点」と捉え、アートを通じて都市の過去と未来、人と人との関係性を問い直す試みです。

詳細は公式 HP をご参照ください：<https://www.gakuenmae-af.com/>

3. ヤノベケンジ氏 プロフィール

1965 年大阪府生まれ。現代美術作家。1990 年、瞑想装置《タンキング・マシーン》でデビュー。「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに機械彫刻を制作。1997 年より放射線感知服《アトムスーツ》を着用し、チェルノブイリ（チョルノービリ）などを訪れる《アトムスーツ・プロジェクト》を敢行（→2003 年）。2011 年、希望のモニュメント《サン・チャイルド》を制作。3 体のうち 1 体が茨木市（大阪）に恒久設置される。2017 年、福を運ぶ旅の守り神《SHIP' S CAT》シリーズの制作を開始。2021 年、大阪中之島美術館に《SHIP' S CAT (Muse)》が恒久設置される。



（以上）